

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和63年9月6日 第23報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa*</i>	100		◎
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	40		
(藍) <i>Gomphosphaeria lacustris*</i>	60		
(藍) <i>Anabaena affinis*</i>	40		
(藍) <i>Oscillatoria sp.*</i>	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	900	◎	○
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	40		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	20		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	240	○	
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	240	○	
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	20		
(緑) <i>Cosmocladium constrictum</i>	40		
(藍) 藍藻綱	280	15.1	61.8
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	960	51.6	20.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	60	3.2	1.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	560	30.1	17.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1860	総体積 (μm^3)	6.77E+06
種類数	15		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	900

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	240

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。
群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。
各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。
琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。